

NICE SMILE

りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院 ● 院外・院内広報

発行・責任者：広報誌編集委員会委員長 永井 義幸／〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地の23 TEL072-469-3111 (代) FAX072-469-7929
http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/

2009
夏
VOL.51



市長・総長

市立泉佐野病院開設者として一言

泉佐野市長 新田谷 修司

千葉県銚子市長と大阪府松原市長は市民病院の開鎖という苦渋の決断をし、リコール運動を起こされるほど大きな市民の反発を受けました。両市長とも各々の自治体の財政状況を鑑み、また廃院とした場合における各々の市内あるいはそう遠くない隣接地において市民の生命の安全と安心を守る代替医療機関が存在することも熟慮の上での決定であると推察致します。

一方、泉佐野市におきましては先日の新聞報道で「財政早期健全化団体転落」の記事を読まれた方も多くおられると思います。私が市長就任後は着実に借金を減らし少しずつではあります但し確実に健全化の方向へ進んでいますが、残念ながら今の絶対値だけをとりえて評価されますと全国でもワーストランキングの上位にランクされるのは間違いない事実であります。

そうであるならば、市立泉佐野病院も閉鎖してしまうのかと心配される皆様も多いと思いますが、私も市議会でも何とか病院を継続していかなければならないという決意を持っています。確かに病院を切り捨てれば財政健全化のスピードはかなり早くなりますが、ここ南泉州において住民の安全・安心を守っている病院は市立泉佐野病院しか考えられません。当病院の外来・入院患者の泉佐野市民の占める割合は五十%を下回っています。言い換えれば、当病院は半分以上周辺自治体の皆様に安全・安心を提供していることとなります。

このような中、今当院では地方独立行政法人への移行に向けて準備を開始しています。現在の病院の役割を維持し、ドクターの働きやすい環境づくりの為にどうすれば良いか、時代の変化にスピーディーに対応するためにも熟慮した結果、独立行政法人化が最も良い選択肢であるとの結論で進んでいます。

これからの国際空港直近都市として、世界に誇れる街づくりを目指し全力投球して行きたいと考えています。

CONTENTS

表紙写真：「市長・総長」	1
市長 新田谷 修司「市立泉佐野病院開設者として一言」	
位藤 俊一「安全、確実な乳がんの診断」	2
堺 美紀「ピンクリボン大阪」	
位藤 俊一「肝がんに対する低侵襲治療」	

仲谷 憲「当院に緩和ケアチームが出来ました」	3
荻田 和秀「泉州広域母子医療センター産科医療センターの一年」	
BSC：バランスト・スコア・カード (Balanced Score Card) 概要	4
医師紹介	5
森 沙苗「短冊に願いを込めて」	6
編集後記／市立泉佐野病院の紹介／人権標語	

安全、確実な乳がんの診断

りんくう総合医療センター市立泉佐野病院がん治療センター長 兼 外科部長 位 藤 俊 一



乳がんの診断は画像において検査で疑いがある場合、針生検などの検査が必要となることがあります。針を刺すといいますが、痛みを伴うたいへんな検査と思われるがちですが、実際には訓練した医師が行う場合は、痛みをかなり軽減することができます。幸いにも、りんくう総合医療センター市立泉佐野病院外科は厚生労働省の戦略研究などの乳房超音波講習会をはじめ、全国的にも針生検などの精査機関として指導的な施設となっています。針の検査としましては、細い針を使用する穿刺吸引細胞診断から極太の針を用いる穿刺吸引組織生検（パコラ生検やマンモトーム生検があります）までいろいろな種類があります。もっとも細い針を用いる場合には麻酔は原則不要ですが、太い針を用いる場合にはあらかじめ局所麻酔を確実にしておくことで、触っている感覚はあるものの検査用の針を刺すときの痛みはほとんど感じる事が無いのが通常です。痛みを最小にして尚且つ安全、確実な診断を行うためには、局所麻酔をエコーで見ながら確実に有効な場所に行うのが

コツです。乳腺の病変は多様性に富んでおり、ときに診断が簡単ではないこともあります。同じ乳がんでも、しこり（腫瘤）を形成している診断の容易なものからはっきりとしたしこりを形成しない病変までありますので、確実な診断が要求されます。組織を十分に採取することで確実な診断ができるだけでなく、乳がんにおきましては、がんの悪性度や適切な治療方針を決定することも可能となりますので、単なる診断に留まりません。必要な場合にはリンパ節の転移診断を細い針の検査で行うことも可能です。このたびアトムス社から出版されました『DVD付き乳房超音波ガイド下インターベンションマニュアル』（日本乳腺甲状腺超音波診断学会インターベンション研究会編）ではりんくう総合医療センター市立泉佐野病院で実際に行っている針生検、極太針生検（パコラ生検）を動画で見ることが可能です。外科だけではなく、放射線科、病理診断科などの協力体制のもとチームで対応させていただきます。精査が必要な場合がございましたらご連絡いただけますと幸いです。



ピンクリボン大阪

Pink Ribbon

8階海側病棟 堺 美 紀

皆さんは、ピンクリボンが何を意味するかご存知でしょうか？

昨年10月にピンクリボン大阪2008というイベントが開催されました。当院と、りんくうシークルでの乳がん・子宮がん検診の実施や、全日空ゲートタワーホテルで女性がんについてシンポジウムが開催されたり、りんくうタウン駅周辺でも様々なイベントが催されました。又、フィナーレには大観覧車がピンク色にライトアップされ大盛況に終わりました。私も、ボランティアとしてシンポジウムのお手伝いをさせて頂きました。メインホールは満席となり、特設会場を使用するほどの盛況振りでした。ピンクにライトアップされた観覧車を見ながら、どれくらいの方が今夜の観覧車がピンク色であることに気付いていて、何故ピンク色なのか知っているのだろうかと思いました。

このような大イベントを手がけたのは、企業でも、行政でもありません。『すみれ会』という患者会の代表と有志の方々が発起人となり企画・運営されたのです。その後、この活動を継続させたいという願いをこめてNPO法人としてピンクリボン大阪が設立されました。ピンクリボン大阪は『女性がん（乳がん・子宮がん）の検診啓発活動を行うことにより早期発見、早期治療により、多くの女性が自分の命を守り、健康に留意し、また女性がんになっても勇気を持って治療に取り組み、生き生きと生活が出来るようサポートできる環境づくりを行政、医療者、患者、府民がともに行うことにより、地域医療を支え、活性化することに寄与する』という目的で活動しており、シンボルマークも乳がん・子宮がんという意味でダブルリボンのマークになっています。

今年は9月5日に岸和田浪切ホールでピンクリボン大阪設立記念フォーラムが開催され、タレントの山田邦子さん率いるスター混声合唱団も来場される予定です。是非みなさんお誘い合わせて参加してみてください。そして、ここ泉州から検診啓発活動を発信していきましょう。



肝がんに対する低侵襲治療

りんくう総合医療センター市立泉佐野病院がん治療センター長 兼 外科部長 位 藤 俊 一

肝がんに対する治療としては、肝切除、ラジオ波焼灼療法や動脈塞栓療法などの治療があります。肝がんには原発性の肝細胞がんや胆管細胞がんだけでなく転移性肝がんもあり、それぞれの症例に応じた治療方針の決定が必要です。肝がんの治療は他のがんと異なり、腫瘍の評価だけでなく、肝機能（肝予備能）による評価が治療方針を決定する際には大切です。エコー、CT、MRIなどの画像診断を行った上で、肝予備能を考慮して治療方針を決定いたします。エコーでは最新の超音波診断装置を用いた造影エコーによる診断も可能です。CTなどの検査で造影剤を使うことができない患者様の精査にも対応可能です。低侵襲治療としてはラジオ波焼灼療法（RFA）を積極的に行っております。80歳代以上の高齢者で肝硬変も合併している場合でもRFAは可能です。りんくう総合医療センター市立泉佐野病院外科では、外科の強みを生かした対応をチームで行っています。また、外科的治療の可否によらず、放射線科をはじめキャ

ンサーボードによる検討も行っています。通常の体表からのRFAが困難な症例では、仮想超音波という手法でCTやMRIの画像と超音波画像で同時に同部位の腫瘍を確認して安全かつ確実なRFAを行っています。また、腹腔鏡を用いたRFAも可能であり、必要があれば開腹してのRFAや、開腹せず人工腹水や胸水を注入することで腫瘍を認識しやすくしてRFAを行うこともできます。切らない治療を希望されてもRFAだけで不十分と考えられる場合には動脈塞栓療法を併用したRFAを考慮いたします。もちろん通常の肝切除が必要な場合には、肝硬変症例を含めほとんどの症例を自己血だけの無輸血で行っています。近隣の先生方のご協力により、術後のフォローアップやインターフェロンなどの治療も地域の先生方に対応していただき感謝しております。肝腫瘍の診断、治療が必要な場合には、ぜひ一度りんくう総合医療センター市立泉佐野病院外科にご連絡いただければ幸いです。



当院に 緩和ケアチームが出来ました

緩和ケアチーム 仲谷 憲

当院に緩和ケアチームが出来ました。2年前に制定されたがん対策基本法では、「がん患者の状況に応じて疼痛等の緩和を目的とする医療が早期から適切に行われるようにすること(第16条)」という条文があります。それに基づいたがん対策推進基本計画では、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについて基本的な知識を習得する」ということが謳われ、大阪においても厚生労働省の基準プログラムに基づいた緩和ケア研修会が多く開催されています。医療の中における緩和ケアの重要性がますます増していると実感しています。また、同基本計画では、「すべてのがん患者およびその家族の苦痛の軽減ならびに療養生活の質の維持向上」という全体目標も掲げられています。がんという疾患が、ひとに与える苦痛は大変厳しいものであることは想像に難くないと思います。その苦痛は、身体的な苦痛のみならず、精神的・社会的・経済的・霊的苦痛にも及びそのひとの生活そのものに大きな影響を与えます。この多くの苦痛を軽減し、生活の質(QOL、quality of life)の維持向上には、ひとつの職種で解決出来ることは多くありません。当院でも、出来るだけ多くの問題を解決出来るように、医師、看護師、薬剤師でチームを組み事務方にバックアップして頂き活動

を開始しました。現在は、主に外科系病棟の患者さんのコンサルトを受けてアドバイスをさせて頂いています。7月からは、非常勤の精神科医がチームに加わる予定で、今後は患者さんやご家族のこころの問題により良い緩和医療が提供できると考えています。生まれたばかりの当院の緩和ケアチームですが、少しでも患者さんやご家族の療養生活の質の維持向上に役立てればと思い活動しています。多くの皆様からご指導を頂ければ幸いです。宜しくお願いします。



泉州広域母子医療センター 産科医療センターの一年

萩田 和秀



昨年の4月から運用が開始された泉州広域母子医療センターも、皆様のおかげをもちましてオープンから1年となりました。市立貝塚病院での婦人科医療センター、市立泉佐野病院での周産期センター共に大過なく運営する事ができました。周産期センター(市立泉佐野病院)では1051組の分娩を、婦



人科センター(市立貝塚病院)では685件の婦人科手術を行いました。また、従来にもまして産婦人科の一次救急にも力を注ぎ、1154件の時間外産婦人科救急患者を受け入れる事が出来ました。大阪府下で産婦人科医療の退縮が進む中では例外的な施設として注目されてきています。これに伴い、新生児医療センター(小児科)だけでなく、麻酔科や泉州救命救急センターの協力を仰ぎ、さらに高度な医療サービスを提供できるようになり、新聞などで問題になっている重症の妊婦さんの搬送受入を断る事ができるだけないように心がけています。

お産は何もなくお母さんも赤ちゃんも退院してはじめて「正常分娩」と言えます。「ハイリスク」と最初からわかっているお産はむしろ少ないのです。我々周産期センターでは、ハイリスク分娩はもちろん、正常な経過中に突如起こる非常事態に備えるべく日夜努力しています。院内だけでなく、地域の皆様がいざというときでも安心していただけるような安全性を尽くした病院として更に研鑽を続けるつもりです。



BSC: バラント・スコア・カード (Balanced Score Card) 概要

BSCとは、組織やユニットのビジョン達成のために、ユニット別に主に5つの視点から明確な目標を設定し、さまざまな指標を用いて定量的に評価を行い、それを共有するための仕組みであり、その為に活用するマネジメントツールです。

主な特徴としては、以下の点が挙げられます。

- 戦略をマネジメントするためのツールであり、その為の因果関係を重要視している
- 包括的な業績評価を、定量性をもって行う
- 5つの視点(医療の質の視点・財務の視点・顧客の視点・業務プロセスの視点・学習と成長の視点)からバランスをとりつつ検討が可能である
- ※ PDCAサイクルを実現し、戦略の着実な遂行を図るために活用しやすい

これらに取り組むことによるメリットは以下の点が挙げられます。

- ビジョンから、戦略、行動を具体化し、戦略をより明確に定義できる
- 医療が担う社会的な観点、それを実施する内部の視点、そしてそのサービスを享受する患者の視点から評価を行える
- 戦略へのフィードバックを行い、戦略の修正が可能となる



※ PDCAとは
Plan Do Check Action の頭文字をとったもので、計画・実行・評価・改善を意味する。



当院の目的

ビジョン : つながりが共感できる病院になる
～医療において、地域において、一つの組織において～

- 病院組織としての透明性を確保する
ビジョンと戦略を明示し、そこから行動まで具現化する
専門性の高いユニット(診療科など)の自律性を尊重し、
診療の流れに即した組織運営を評価する
ボトムアップとトップダウンのルートを確保する仕組みに利用する
- 事業性のバランスが取れた業績評価を行う
財務以外の視点からも積極的に業績評価する
医療が担う社会的役割も評価対象とする
- ※ PDCAサイクルに活用する
行動と目標値をチェックし、修正し、アクションする

(採用年月日:平成19年10月1日以降)

医師紹介

- ① 今後の抱負など
- ② 趣味やモットー、又は好きな言葉・得意な事など

医師紹介			
① 今後の抱負など ② 趣味やモットー、又は好きな言葉・得意な事など			
 耳鼻咽喉科 榎本 友美子 ① 最初は慣れない事ばかりですが、御指導の程宜しく願います。 ② 手術手技を学びながら、料理も覚えたいと思います。	 循環器科医長 渡邊 千秋 ① これまでの経験を生かし、よりよい医療を提供できるよう努めてまいりたいと思います。 ② 趣味：テニス、華道、園芸など。料理は得意です。テニスをされる方、誘って下さい。	 産婦人科医長 福井 温 ① 府立母子センターより異動して参りました。よろしくお願致します。 ② 至誠、天に通ず	
 麻酔科部長 仲谷 憲 ① 麻酔科の仲谷と申します。早く病院のシステムに慣れ、患者様を初め皆様に貢献出来る様に精進します。 ② 今年に入り、釣りに行く機会が増えました。九月には北大東島で24kgのマグロを確保しました。	 外科 藤井 亮知 ① 五年ぶりに大阪で勤務することになりました。初めに戻って一生懸命に頑張りたいと思います。よろしくお願致します。 ② 趣味は、ゴルフ、野球です。	 麻酔科医長 小林 俊司 ① 安全で高品質な麻酔システムを構築するとともに、各科の要望を実現できるよう努力させていただきます。 ② 趣味は天体観望、スポーツは水泳やスキーをします。	 内科医長 河本 吉満 ① 患者様に親しまれる様に心掛ける事を目標にして、且つ熱心な診療につとめる事。 ② 読書、音楽、サーフィン
 内科医長 矢倉 宏祐 ① 四十数年来、行っている統合医療に関する医学を進行するような医師。 ② 鼻が上があれば舞台の役者。DIVERINGで水中へ入り、散歩を楽しむこと。	 脳神経外科 脳血管外科副医長 山田 公人 ① 頼られる脳外科医となる様日々精進して行きます。 ② ドライブ、音楽鑑賞など。	 産婦人科 高橋 恵 ① 産婦人科一年生の未熟者ですが、日々精進して頑張ります!! ② 好きなこと：スキー、(意外にも?)料理。	 内科 梶本 忠史 ① 専門は内分泌代謝内科です。地域医療に貢献できるようがんばっていきます。 ② 趣味：旅行、美術鑑賞、陶芸、チャレンジ。
 健康管理センター副センター長 兼消化器科医長 長島 雅子 ① 医師人生の総仕上げと覚悟して精進したいと考えています。 ② テニス、スキーなど運動ばかりしていましたが、最近電子ピアノを買ってはまっています。	 循環器科 貴島 秀行 ① 責任感を持って周囲のスタッフの方々と協力してがんばりたいと思います。 ② 趣味：野球	 腎臓内科 畑 中雅喜 ① 人見知りな上に、人の顔と名前を覚えるのが苦手ですが、これからよろしくお願致します。 ② 昔は体を動かすのが好きでした。スキー行きたいと思っっては数年。	 循環器科 林 大知 ① 一日も早く新しい環境に慣れ、皆様からの信頼を得られるよう頑張りたいと思います。 ② 謙虚に、感謝の気持ちを忘れずに。
 麻酔科副医長 米本 紀子 ① 出産してきました。家族を大事にしながら、ベイン緩和とやってみようと思います。 ② よく寝る、よく遊ぶ。趣味はポディボード、ダンス。田舎や自然が大好きです。	 耳鼻咽喉科 上里 迅 ① 二年ぶりに大阪へ戻ることができ、仕事ができることを楽しみにしています。よろしくお願致します。	 産婦人科 岩永 直子 ① よろしくお願致します。がんばります。	 小児科 島袋 浩 ① 大阪初めてで結構緊張します。頑張ってください。皆様よろしくお願致します。 ② これといった趣味はありませんが初めての関西なのでこれを機会にあつこつち行きたいです。
 臨床研修部 崔 静姫 ① まだまだ未熟者ですが、やる気がありますのでご指導の程宜しくお願致します。 ② 音楽、映画鑑賞や海外旅行が好きです。好きな言葉は「Where there is a will there is a way。」	 整形外科 田宮 大也 ① 自然体で普通にがんばります。 ② 音楽鑑賞	 脳神経外科部長 兼時間外救急診療部長 森内 秀祐 ① 大阪南部の脳神経外科診療、なかでも脳腫瘍と脳卒中診療の拠点を目指します。 ② すべては患者様のために、生活の質の向上をモットーに最先端医療の提供に尽力しています。	 小児科 松本文博 ① 早く慣れ頑張りたいと思います。 ② つり
	 眼科 大槻 紘平 ① 早く仕事に慣れるようがんばりたいと思いますので、よろしくお願致します。 ② 趣味はサッカーです。	 周産期センター 産科医長 萩田 和秀 ① 全国的に注目されている事業なので新しく、堅実に、親しみやすい周産期医療を目指します。 ② 「守る」攻め、趣味はJAZZとドライブ	 消化器科医長 岩田 昌展 ① 早く新しい環境に慣れて、一生懸命頑張りたいです。 ② 趣味は、映画とボーリングとカラオケです。
	 泌尿器科副医長 森山 泰成 ① 四年ぶりに戻ってきました。早く慣れて、積極性を生かし、頑張ります。 ② 白衣をぬげばスポーツ大好きです。野球、ゴルフ何でもこいです。	 歯科口腔外科 藤田 祐生 ① しっかり、精進します。 ② よく映画を観にいきます。	 脳神経外科 脳血管外科部長 寺本 佳史 ① 脳血管疾患について、泉州の方に安心と信頼をもって頂ける医療を提供できるように頑張っています。 ② 趣味：ゴルフ、スキーなどスポーツ全般。とりあえず、体を動かすのが好きです。
	 臨床研修部 森本 正昭 ① 早く仕事に慣れて泉佐野の医療に貢献したいです。 ② 趣味はテニスです。	 臨床研修部 大野 壮史 ① できるだけ楽しみながら頑張りたいと思います。よろしくお願致します。 ② 趣味は音楽鑑賞です。	



短冊に願いを込めて

外来化学療法室 副看護師長
がん化学療法看護認定看護師

森 沙 苗



七夕は年に一度、おり姫星と、ひこ星が天の川をわたって会うことを許された特別な日で、この日に短冊に願いを書き込むと叶うといわれています。

外来化学療法室では、様々な疾患を抱えながら日常生活を送られている患者さんと出会います。なかでも、悪性疾患を抱えながら外来通院で抗がん剤治療を受ける患者さんと関わる中で、希望や目標を持つことが、前向きに治療に臨み長期間に及ぶ治療継続につながるということを実感します。前向きに治療に臨む患者さんからは、いつも笑顔とパワーをもらっています。『生きること』について考え、そのことに懸命な患者さんやご家族に対して、看護師として一体何が出来るのだろうか考える毎日です。



大阪府では、国が指定するがん診療拠点病院に加え、がん診療に関して実績があり、府が定める要件を満たす病院を広く府民の皆様にお知らせする為に『大阪府がん診療拠点病院』制度が創設されました。平成21年4月1日から大阪府下23医療機関が指定され、当院もその指定病院となりました。医療及びがん看護の質の向上が求められており、当院でも緩和ケアチームが発足し、毎週金曜日の13時から回診を行い、患者さんにご家族の苦痛緩和に努めています。外来化学療法室でもスタッフの意思統一をさらに強め患者様との信頼関係を深め、質の高い看護を提供できるよう努めています。

ささやかではありますが、患者さんやご家族の希望や目標が叶いますようにと、平成18年度より外来化学療法室が中心となり、笹と短冊を飾り付ける七夕のイベントを始めました。2Fエスカレーター横に笹を設置し、可愛い飾りつけを行い、どなたでも記入できるように短冊を準備しています。通院されている患者さんや入院患者さんをはじめ、そのご家族やお見舞いに来られた方が、短冊にそれぞれの願いを込めて書きこまれています。スタッフの皆様も一緒にいかがでしょうか。

短冊にこめられた願いが少しでも叶えられるように私達も協力していきたいと考えています。

編集後記

100年に1度の不況の真っ只中スタートした2009年も早いもので半分が過ぎました。

この間、G. W. 明けに新型インフルエンザの国内感染者が発見された時は、関西空港対岸の病院として、総長以下、院内一丸となった医療体制づくりにご尽力されました。

近畿圏内の感染者も減り、あのころのような過剰な報道もみられなくなったとはいえ、WHOはフェーズ6に引き上げられ、世界的にはまだまだ予断の許されない状況が続いています。私達も気を引き締めて取り組んでいかなければと思っております。

このNICE SMILEは、私がこちらで勤務させていただいてからしばらくして創刊された広報誌です。最初は広報誌の名前(NICE SMILE)もなく、創刊号で院内公募して選ばれた愛称だという、当時は懐かしく思い出しました。同時に、なぜ『NICE SMILE』が選ばれたのか…いつの時も皆さんが『NICE SMILE』でありますように!!

総務課 寺岡 尚子

市立泉佐野病院の紹介

診療科

内科/呼吸器科/消化器科/循環器科/小児科/神経内科/外科/整形外科/形成外科/脳神経外科/呼吸器外科/心臓血管外科/産婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/泌尿器科/リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/歯科口腔外科

受付時間

初診・予約をされていない方

8:00~11:00 (※産婦人科は8:00~11:30)
診察開始は8:45からです (※土・日曜日・祝日を除く)

受付時間

当院は予約制を導入しております。初回の診察時には、上記受付時間内に来院してください。2回目以降の受診については、診察時に予約をいたします。
初診の方は、2階中央受付カウンターの初診受付までお越しください。受付後、各科ブロックへおすすみください。他医療機関からの紹介状を持参の方は、中央受付カウンターの紹介受付までお越しください。

※初診の方で、内科系の診察をご希望の場合、かかりつけ医の先生方からの紹介状をご持参ください。



人権は みんなが持つもの 守るもの